

重粒子線治療後の椎体骨折における大腿部の エイトによる痛みの軽減効果



南港クリニック
産婦人科、骨粗鬆症学会専門医、抗加齢学会専門医
廣田 憲二 先生



【症例】 73歳女性

子宮体癌手術後、陽子線治療の副作用により腰椎（L4-5）圧迫骨折を起こす。腰痛、右大腿部の痛みにより歩行や座業の長時間継続が困難となる。

【経過】

2017年子宮体癌手術後、陽子線照射治療。照射された腰椎の高い骨折のリスクが伝えられる。骨折予防のためにデノスマブの投与、運動、カルシウム摂取を勧める。

2021年春、配達された牛乳パック6本〈6リットル〉を移動させた時から腰の痛みを感じるようになった。特に起床時に激痛を生じる。診察の結果、レントゲンで腰椎（L4-5）の骨折が見つかる。腰痛だけでなく、徐々に右大腿部の痛みもひどくなり、継続して10分以上の歩行が困難となる。整形外科医から1～2年も経てば、痛みは無くなると言われたが、軽減することは無かった。理学療法を紹介され、理学療法士の指導を約3か月受けても、全く改善せず。経皮鎮痛消炎剤（ケトプロフェン）、プレガバリン、デュロキセチンなどを服用するも効果を認めず。特に右脚大腿骨近位部と右大腿直筋辺りに痛みが顕著。

2023年10月末からエイト使用開始により、徐々に痛みが軽減(図1)。

1週間後、痛みが軽くなり、気持ちが前向きで表情も明るくなる。1日当たりの歩数が多くなり(図2)、1か月後には、団体のツアー旅行も参加でき、皆について歩けるようになった。エイト治療1か月後右脚の痛みは殆ど無くなった。

しかし、2023年11月22日から、痛みがほとんど無かった左脚の痛みを訴えるようになる。そこで、エイトの治療を痛みの無くなった右側から左側へと変更。腰椎背部と左大腿骨近位部と左大腿直筋辺りに移動させ治療を続けている。右背部、右大腿部の痛みはほとんど無くなっており、左大腿骨頸部、左大腿直筋共は、痛みが軽減し始めている。痛みの評価はNRS (Numerical Rating Scale) で、1日当たりの歩数は起床後から入浴までスマートウォッチ(pixel watch) で測定した。

※図1のNRSに関しては、治療部位だけでなく、その日の痛みについての総合評価を行った

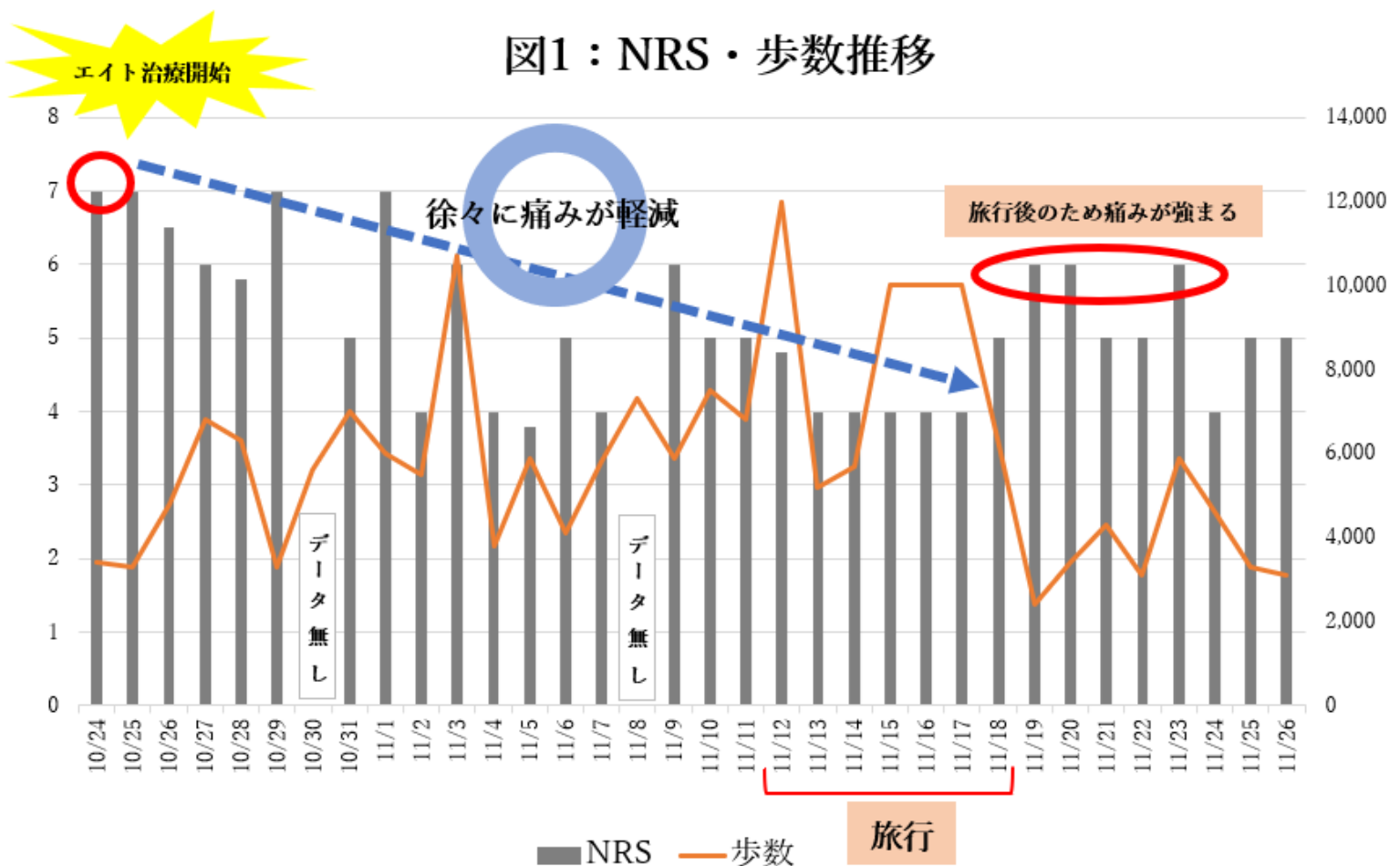
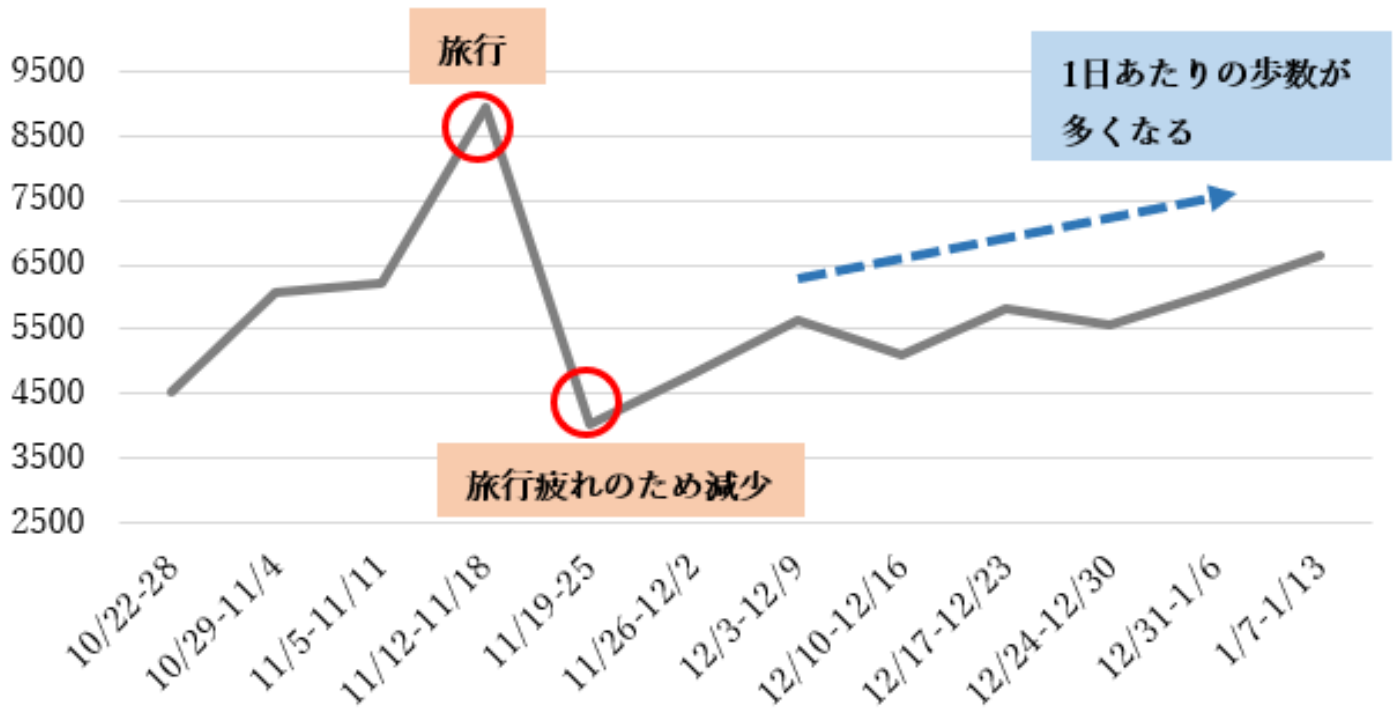


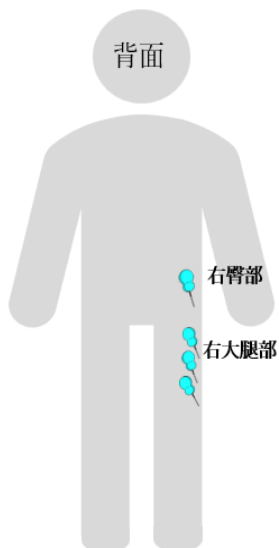
図2：平均歩数推移



【パッドの固定方法】

2023年11月22日から左脚の痛みが出現したため、パッドを当てる位置を変更。11月22日に初めて左脚にパッドを使用し、それ以降は痛みに合わせて位置を変更し、治療を行った。

【10/24～11/21】



【11/22】



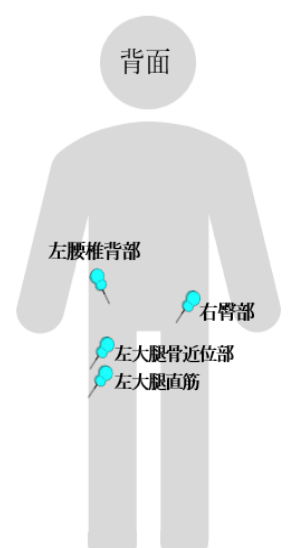
【11/23～11/24】



【11/25】



【11/26】



【エイトの効果】

痛みは本人にしかわからないが、活動の低下によりQOLを極度に低下させる。エイトは、この痛みを、自身による治療で低下させる簡便な治療法である。効果はすぐには表れず、根気良く治療が必要であった。今回の一連の治療において副作用が認められなかったのが、素晴らしい点である。

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp